

平成22年度

岡山県立博物館協議会

第1回 開催要項

1 開会

2 議題

(1) 平成22年度事業について

- ア 展覧会
- イ 教育普及事業
- ウ その他
 - ①入館状況
 - ②その他

(2) 中期目標の達成状況について（平成21年度）

(3) その他

- ア 平成21年度来館者アンケート

3 閉会

日 時：平成22年 8月17日(火) 13:30～15:00

会 場：岡山県立博物館 「講堂」

平成22年度 事業計画

岡山県立博物館

事業名		期 間	内 容	資 料 ペー ジ
岡山県の歴史と文化	春 展	4月11日(木) ～5月23日(日)	<p>考古、美術工芸、文庫、民俗、刀剣、備前焼の各分野において岡山県の歴史と文化を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈特別展〉「虫馴遊」(4/1～4/18) ・〈特別展〉「＜G＞胎内の世界～徳盛子手製瓦人形～」(5/27～6/27) ・〈特別展〉「第1編新の名刀」(6/29～8/1) ・〈特別展〉「大地からの伝り2010～岡山発掘調査報告～」(8/5～9/5) 	14
	夏 展	5月27日(木) ～9月5日(日)		
常 展	秋 展	9月10日(金) ～11月28日(日)	<p>展示内容は、和泉町刀代村(現大塚町堀田)から3代目吉村が備前焼和泉郷産瓦村(現和泉町森原)へ移住し瓦師となつて「常閑」を名乗り、以来後裔を築いた。代々「常閑」を名乗り和泉郷産瓦も働いている。この展覧会で「常閑」の資料が一掃して常閑へ常閑されたことを記念して、刀代家の伝承を基にした「常閑」の歴史と文化を、改めて刀代常閑の業績を考えてみたい。</p>	8
	冬 展	12月31日(金) ～3月21日(月)		
特別展	春 展	平成23年3月25日(金)～	<p>瀬戸内の雄大な気候風土に生まれた岡山県には多くの人材が行まれ、さまざまな分野で活躍し、わが国の歴史に名を残してきた。この展覧会では、わが国の近代に学問、教育、政治、文化などの分野で活躍した人々を取り上げ、その人物や業績を紹介する。</p>	3
	秋 展	4月22日(木) ～5月23日(日)		
企業展	岡山県	2月17日(木) ～3月21日(日)	<p>岡山県では「歴史1 古代備前の国～謎の鬼ノ城」講座の開催成果や解明された内容を紹介します。</p>	4
	岡山県	9月10日(金) ～10月17日(日)		
特別展	岡山県	10月22日(金) ～11月28日(日)	<p>「第25回岡田氏文化祭・おかやま2010協賛事業」に向けて岡山県の歴史と文化を紹介する。</p>	6
	岡山県	10月22日(金) ～11月28日(日)		
交流展	岡山県	1月14日(金) ～2月13日(日)	<p>鳥穂県立古田出張歴史博物館との交流事業の2年目は、鳥穂県に「鳥穂」に因る資料などを借出し、岡山県民に古田出張の歴史と文化を紹介する。</p>	7
	岡山県	8月5日(木) ～9月5日(日)		
月間別	岡山県	8月5日(木) ～9月5日(日)	<p>岡山県の歴史と文化に因る見聞向けツアーを設定し、第1日はそのテーマに因る文化財をバスツアーにより一日で集中的に見学する。第2日は、県立博物館で、文化財見学の成果を仕上げながら、学芸員からスライドや見聞資料を用いた授業を受け、郷土の歴史に対する理解を深め、さらに博物館での「マニアック」な資料をもとに「マニアック」な見聞ツアーでも見聞して文化財や博物館へ親しみ第3日は各小学校で郷土の歴史見学の成果をまとめ「マニヤック」4講座</p>	9
	岡山県	7月12日(月)・8月6日(金) 8月11日(木)・9月7日(木)		
特別展	岡山県	5月5日(金・祝)	<p>いま福祉・医療現場に携わらざるをえない思い出しを語り合うことで機会の回復、高齢者ケアを見たとす「問題」が導入され、博物館の利用、資料の活用が進められていく。本館でも、外部講師を招き、記念講演会を開催する。高橋孝志氏から「常閑」の歴史と文化について講義する。「マニヤック」の2つの講座を実施する。</p>	11
	岡山県	5月15日(土)		
特別展	岡山県	5月5日(金・祝)	<p>＜国際博物館の日(5月18日)記念事業＞小・中学生による「(中)や小袖を実際に着てもらうことで、本物の持つ質感や迫力を体験する場を設ける。定員 各10組</p>	13
	岡山県	5月16日(日)		
特別展	岡山県	2～3月	<p>子ども体験!あなたも葉利師 カイトフック作成 テキスト活用事例研究(CO)作成 小学生の展覧会見学 記念講演会 国産自動車第1号がやってくる たまごかけごはん展 花ごさ織り体験 2～3月 2～3月 2～3月</p>	4
	岡山県	2～3月		
特別展	岡山県	10月10日(日)	<p>学芸員が専門分野や担当する展覧会を中心に展示内容を解説する。</p>	17
	岡山県	10月10日(日)		
特別展	岡山県	9月25日(土)	<p>特別講演会1 特別講演会II 記念講演会 国産自動車の製作した最初の岡山自動車「のび」の模型を展示し、講義を聴きながら展示や初体験したコースを紹介する。</p>	3
	岡山県	9月19日(日)		
特別展	岡山県	10月2日(土)	<p>葉利師に因って、お菓子を使った菓の装飾を体験する。葉利師による菓の相違コーナーも設置する。</p>	5
	岡山県	10月24日(日)		
特別展	岡山県	11月14日(日)	<p>特別展に因って、外部講師を招き、記念講演会を開催する。 講師：徳島市健康文化センター館長 村上善雄氏 議題：「岡山と菓と教育」</p>	6
	岡山県	11月23日(火・祝)		
特別展	岡山県	11月21日(日)	<p>特別展に因って、外部講師を招き、記念講演会を開催する。 講師：吉備国際大学教授 白井博輔氏 議題：未定</p>	7
	岡山県	10月30日(土)・11月3日(木・祝)・6日(土)		
特別展	岡山県	1～2月	<p>特別展に因って、外部講師を招き、特別講座を開催する。 講師：岡山県指定重要無形文化財保持者(人間国宝)「備前焼」 伊勢崎信氏 特別展に因って、外部講師を招き、特別解説を開催する。 講師：岡山県指定重要無形文化財保持者「日本刀」 安藤広治氏 「土のねり」の技」と題して、備前焼の真実を通じて、巧の技術に触れてもらう。 講師：未定</p>	8
	岡山県	2月5日(土)・6日(日)		
特別展	岡山県	1月23日(日)・30日(日)・2月13日(日) 11:00～15:00	<p>展示を見て岡山の代表的な文化財の場所をたどり、展示内容にある文化財のカードを文化財マップへ貼ってマップを作成させる。</p>	9
	岡山県	8月8日(日)		
特別展	岡山県	8月15日(日)・29日(日)	<p>文化交流展に因って、外部講師を招き、記念講演会を開催する。 講師：和音大学名誉教授 高橋昌明氏 議題：「藤戸および備前合戦の歴史的意義」</p>	10
	岡山県	8月22日(日)		
特別展	岡山県	期間中	<p>竹製の弓矢を使い、風に見立てた的を射る。</p>	11
	岡山県	7月21日～23日 2月中旬		
特別展	岡山県	随時	<p>各中学校からの要請に応じて、職場体験を受け入れる。</p>	12
	岡山県	随時		
特別展	岡山県	随時	<p>インターネット上で、資料の紹介、検索サービスを提供。また、歴史クイズ・謎の物のコーナーで岡山県の歴史と文化を学習できるコンテンツの充実を図る。</p>	13
	岡山県	随時		
特別展	岡山県	随時	<p>本館の事業についての報告、学芸員及び収蔵資料の紹介等の広報を行う。</p>	14
	岡山県	随時		

平成22年度年間展示計画 一覧表

平成22年6月30日

	第1室 (考古関係)	第2室 (美術・文書等)	第3室 (民俗・備前焼関係)	第4室 (刀剣等)	オープンスペース
(3/18)~4/4 春季展 (1) 20+4日	・古代吉備の世界 - 考古資料 -	・涅槃図の世界 ・岡山の仏像 ・寺社の古文書・古文書入門	・雛人形 ・屏風絵の作品 ・幕末の岡山	・よみがえった備前刀 ・備前焼 ☆〈特別陳列〉「虫明焼」	
4/6~4/18 春季展 (2) 13日	・古代吉備の世界 - 考古資料 -	・涅槃図の世界 ・岡山の仏像 ・寺社の古文書・古文書入門	・雛人形 ・屏風絵の作品 ・幕末の岡山	・よみがえった備前刀 ・備前焼 ☆〈特別陳列〉「虫明焼」	
4/22~5/23 企画展 (1) 春季展 (3) 32日	・古代吉備の世界 - 考古資料 - ・古瓦の美	・武將の書状 ・岡山の仏像 ・岡山ゆかりの宗教家 - 法然・重源・栄西 -	☆〈企画展〉 「売薬の祖 万代常閑」	・備前・備中・備後の刀剣 ・すばらしき明治工芸 - 正阿弥勝義 ・備前焼名品選 茶陶の作品	企画展 展示 DVD
5/27~6/27 夏季展 (1) 32日	・古代吉備の世界 - 考古資料 - ・勝間田焼	☆〈特別陳列〉 「〈仏〉胎内の世界 - 餘慶寺千手観音納入品 -」 ・岡山の仏像 ・仏画入門	・婚礼衣装 ・備前焼名品選 大甕の美 茶陶の作品	・備前・備中・備後の刀剣 ・すばらしき明治工芸 - 正阿弥勝義	昭和 (夏)
6/29~8/1 夏季展 (2) 34日	・古代吉備の世界 - 考古資料 - ・龜山焼	・日本の神々 - 彫刻・工芸 - ・岡山の仏像 ・おかやま人物事典 - 浦上玉堂・春琴 ・江戸時代の絵画	・婚礼衣装 ・備前焼名品選 大甕の美 茶陶の作品 ・海中の古備前	☆〈特別陳列〉「幕末維新の名刀」 ・刀装具名品選	昭和 (夏)
8/5~9/5 企画展 (2) 32日	・古代吉備の世界 - 考古資料 - ☆〈特別陳列〉大地からの便り2010 - 岡山発掘調査報告展 -	☆第25回国民文化祭・おかやま2010協賛事業 ・瀬戸内国際芸術祭2010協賛事業 「瀬戸内源平台戦 - 兵たちの世界 -」	・岡山の生業 - 鑄物 - ・備前焼名品選 細工物の美 茶陶の作品 ・海中の古備前	・岡山の新刀・新々刀 ・刀装具名品選	昭和 (夏)
9/10~10/17 特別展 (1) 秋季展 (1) 38日	☆〈特別展〉第25回国民文化祭・おかやま2010協賛事業 「鬼ノ城 - 謎の古代山城 -」		・岡山の生業 - 鑄物 - ・備前焼名品選 細工物の美 茶陶の作品 ・海中の古備前	・神に捧げられた刀剣 ・足守藩木下家の歴史と文化	昭和 (秋冬)
10/22~11/28 特別展 (2) 秋季展 (2) 38日		☆〈特別展〉第25回国民文化祭・おかやま2010協賛事業 「晴れの國の名宝 - 岡山の国宝・重要文化財 -」			特別展 関係
12/3~1/10 冬季展 (1) 24+6日	・古代吉備の世界 - 考古資料 - ・岡山の鏡	・社寺参詣 ・密教絵画	・看板 ・備前焼名品選 細工物の美 茶陶の作品	・日本刀名品選 ・漆の美	商家の 店先
1/14~2/13 交流展 冬季展 (2) 31日	・古代吉備の世界 - 考古資料 - ・裝飾付き大刀の世界	☆〈交流展〉 「古代出雲展Ⅱ - 神々の世界 -」	・看板 ・備前焼名品選 茶陶の作品 種鉢の変遷 ・海中の古備前	・日本刀名品選 ・漆の美	商家の 店先
2/17~3/21 企画展 (3) 冬季展 (3) 33日	・古代吉備の世界 - 考古資料 - ・裝飾付き大刀の世界	☆〈企画展〉 「近代岡山の先人たち」	・摺り物の世界 ~ 印刷の歴史 ・雛人形 ・備前焼名品選 茶陶の作品 壺の変遷と名品	・よみがえった備前刀 ・甲冑名品選	雛人形
3/25~ 春季展 (1) 7+X日	・古代吉備の世界 - 考古資料 -	・岡山藩主と岡山城 ・日本の神々 - 絵画 -	・雛人形 ・備前焼名品選 茶陶の作品 壺の変遷と名品	・よみがえった備前刀 ・甲冑名品選	雛人形

☆が広報テーマ

平成22年度 企画展「売薬の祖 万代常閑」 開催要項

1 趣 旨

万代家は、和泉国^{もす}万代村（現大阪府堺市）から、室町時代に3代主計^{かづえ}が備前国和気郡益原村（現和気町益原）へ移住し医師となって以来、医を業とした。代々「常閑」を名乗り、江戸中期から和気郡医も勤めている。

中でも11代常閑は、越中富山へ家伝薬「延寿返魂丹^{えんじゆほんごんたん}」を伝え、富山の売薬の歴史へ大きな影響を与えた人物として知られている。

本展覧会では、万代家に伝わる貴重な資料が、このたび当館へ一括して寄贈されたことを記念して、医業をはじめ、同家に関わる様々な資料や富山県の売薬関係資料を紹介しながら、万代常閑の業績について考える。

2 主 催 岡山県教育委員会・岡山県立博物館

3 会 期 平成22年4月22日（木）～5月23日（日）

※休館日：毎週月曜日 ただし、5月3日は開館

4 開館時間 午前9時～午後6時

5 会 場 岡山県立博物館 第3展示室

6 入 館 料 200円（65歳以上・中学生以下 無料）

7 主な展示資料

第一部 万代家の医業

延寿返魂丹看板 ^{えんじゆほんごんたん}	元禄17(1704)年	岡山県立博物館蔵
御郡 ^か 医者任命書	江戸時代後期	岡山県立博物館蔵
往診駕籠	江戸時代	岡山県立博物館蔵
11代万代常閑坐像（備前焼）	昭和9(1934)年	岡山県立博物館蔵
本草綱目	江戸時代	岡山県立博物館蔵

第二部 万代常閑と越中富山

反魂丹由緒書	江戸時代後期	富山県立図書館蔵
二十四輩巡排図絵	享和2(1802)年	富山市郷土博物館蔵
売薬版画（合薬売弘所）	江戸時代末期～明治時代	富山市売薬資料館蔵
薬袋 版木 試摺紙	江戸時代	富山市蔵
売薬版画（万代常閑）	江戸時代末期～明治時代	富山市売薬資料館蔵
富山の売薬用具[反魂丹製造道具]【重要有形民俗文化財】		富山市売薬資料館蔵

第三部 近代以降の万代家

片上海浜療病院規程・片上海浜保養院規程	昭和時代初期	岡山県立博物館蔵
版木「片上八景」	明治時代	岡山県立博物館蔵

8 関連事業

(1) 特別講演会Ⅰ

日 時：平成22年5月9日（日）13:30～15:00

講 師：山陽学園大学・山陽学園短期大学学長 赤木忠厚氏

(2) 特別講演会Ⅱ

日 時：平成22年5月15日（土）13:30～15:00

講 師：就実大学副学長・薬学部長 五味田裕氏

(3) 子ども体験！あなたも薬剤師

日 時：平成22年5月16日（日）10:00～15:00

薬草にふれたり、お菓子を使った薬の袋づめをしたりする体験。薬剤師による薬の相談コーナーも設置する。

(4) 展示解説（本館学芸員）

日時：4月24日（土）・5月6日（土）・22日（土） 午後2～3時

平成22年度 企画展「近代岡山の先人たち」

開催要項（案）

1 趣 旨

瀬戸内の温暖な気候風土に恵まれた岡山県に生み出され、育まれた多くの人材が、さまざまな分野で活躍しわが国の歴史に名を残してきた。

この展覧会では、わが国の近代に学問、教育、政治、文化などの分野で活躍した人々を取り上げ、関係資料の展示を通じてその生涯や業績を紹介する。岡山、さらに日本の文化向上に関わった人々の歩みを振り返り郷土岡山を見直す機会としたい。

2 主 催 岡山県教育委員会・岡山県立博物館

3 会 期 平成23年2月17日（木）～3月21日（月）

※休館日 毎週月曜日 ただし、3月21日は開館

4 開館時間 午前9時30分～午後5時

5 会 場 岡山県立博物館 第2展示室

6 入館料 250円、65歳以上は120円（高校生以下無料）

7 展示構成と主な展示資料

岸田吟香 【天保4（1833）年～明治38（1905）年】

精錡水看板 明治時代

美咲町教育委員会蔵

精錡水引札 明治時代

岡山県立博物館蔵

磯崎眠亀 【天保5（1834）年～明治41（1908）年】

錦莞莖 茶色地白ぬき牡丹唐獅子文

岡山県立博物館蔵

第四回内国勸業博覧会褒賞証

岡山県立博物館蔵

福西志計子 【弘化4（1847）年～明治31（1898）年】

刺繍作品（福西志計子製作）

岡山県立高梁高等学校蔵

拓本（順正寮跡の石碑）

高梁市歴史美術館蔵

犬養 毅 【安政2（1855）年～昭和7（1932）年】

備前焼胸像 現代

犬養木堂記念館蔵

犬養毅写真 明治6（1873）年

個人蔵

坂野鉄次郎 【明治6（1873）年～昭和21（1946）年】

大礼服 明治時代

個人蔵

通信要録 明治時代

通信総合博物館蔵

山羽虎夫 【明治7（1874）年～昭和32（1957）年】

肖像写真 明治時代

個人蔵

道具箱 明治時代

個人蔵

仁科芳雄 【明治23（1890）年～昭和26（1951）年】

幼少時代の書・絵 明治時代

科学振興仁科財団蔵

肖像写真 明治時代

科学振興仁科財団蔵

人見絹枝 【明治40（1907）年～昭和6（1931）年】

アムステルダムオリンピック陸上銀メダル

昭和3（1928）年

個人蔵

デスマスク

昭和6（1931）年

岡山県立岡山操山高等学校同窓会蔵

8 関連行事（文化庁 美術館・歴史博物館活動基盤整備支援事業）

ーこんにちは先輩！近代岡山の先人に学ぼう！ー

(1) ガイドブック作成

配布先：県下全小中高校、図書館等

(2) テキスト活用事例研究(CD)作成

配布先：県下全小学校、県総合教育センター

(3) 小学生の展示・行事への参加

対象校：美咲町、高梁市、里庄町

(4) 記念講演会

講師・日時：未定

(5) 国産自動車第1号「山羽式蒸気自動車」がやって来る！

(6) 吟香さんのたまごかけごはんを味わおう！（たまごかけごはん実演会）

(7) ミニ機で花ござ織り体験をしよう！

(8) 先人に出会うスタンプラリー

＜第25回国民文化祭・おかやま2010協賛事業＞
平成22年度 特別展「鬼ノ城～謎の古代山城～」
 開催要項（案）

1 趣 旨

吉備高原の南端、岡山県総社市奥坂にある鬼城山に築かれている鬼ノ城は、総社市教育委員会によって城門、水門、土塁や石塁などを中心に発掘調査が進んでいる古代山城として全国的に知られている。さらに、平成18年度から、岡山県教育委員会が城内を対象に「甦る！古代吉備の国！謎の鬼ノ城」調査事業を行っており、新たな成果も得られている。

この展覧会では、鬼ノ城の発掘調査成果を詳しく紹介するとともに、同時期に築城された九州の古代山城などを取り上げ、古代山城の謎の解明に迫る。

- 2 主催** 岡山県教育委員会・岡山県立博物館・岡山県古代吉備文化財センター
3 主 期 平成22年9月10日（金）～10月17日（日） ※休館日：毎週月曜日
4 開館時間 9月中：午前9時～午後6時、10月中：午前9時30分～午後5時
5 会場 岡山県立博物館 第1～2展示室
6 入館料 大人450円、高校生100円、小中学生80円、65歳以上220円
 （5歳未満は無料）

7 展示構成と主な展示資料

第1部 古代山城

- 第1章 古代山城とは
 第2章 九州の古代山城
 大宰府・水城・大野城・基肆城・鞆智城・怡土城ほか
 第3章 瀬戸内の古代山城
 大廻小廻山城・播磨城山城ほか

第2部 鬼ノ城

- 第1章 城壁
 第2章 城内確認調査
 第3章 居住地・礎石建物群
 第4章 鍛冶工房
 第5章 鬼ノ城と温羅伝説

（主な展示資料）

大宰府 政庁軒丸・軒平瓦	飛鳥時代	九州歴史資料館蔵
水城 「水城」銘墨書土器（複製）	飛鳥時代	大宰府市教育委員会蔵
大野城 鬼瓦	飛鳥時代	九州歴史資料館蔵
大野城 「館」銘墨書土器	飛鳥時代	宇美町教育委員会蔵
大野城 弘仁十一年三月四日大宰府牒案	江戸時代	九州国立博物館蔵
基肆城 稲穀に関する木簡	飛鳥時代	九州歴史資料館蔵
鞆智城 百済菩薩立像	飛鳥時代	鞆智城温故創生館蔵
怡土城 土師器	奈良時代	伊都歴史資料館蔵
大廻小廻山城 短頸壺	飛鳥時代	岡山市教育委員会蔵
播磨城山城 門礎石（複製）	飛鳥時代	たつの市教育委員会蔵
鬼ノ城 円面硯	飛鳥時代	岡山県教育委員会蔵
鬼ノ城 須恵器	飛鳥時代	
鬼ノ城 鞆羽口	総社市教育委員会蔵・飛鳥時代	岡山県教育委員会蔵
鬼ノ城 鉄器	飛鳥時代	岡山県教育委員会蔵
鬼ノ城 瓦塔	飛鳥時代	岡山県教育委員会蔵
備中吉備津宮勸進帳	飛鳥～平安時代	岡山県教育委員会蔵
木造 鬼面	天正11(1583)年 室町時代	岡山市金山寺蔵 岡山市吉備津神社蔵

8 関連事業

- (1) 記念講演会
 日 時：平成22年10月10日（日）13:30～15:00
 講 師：総社市埋蔵文化財学習の館館長 村上幸雄氏
- (2) 鬼ノ城フォーラム「謎の鬼ノ城～城内を探る」
 日 時：平成22年9月25日（土）13:00～16:20
 場 所：岡山県立美術館
- (3) 国指定重要無形文化財 備中神楽「吉備津能」
 日 時：平成22年9月19日（日）13:30～14:30
 公 演：備中神楽保存振興会
- (4) [屋外博物館]学芸員とめぐる鬼ノ城バスツアー
 日 時：平成22年10月2日（土）9:30～15:00
- (3) 展示解説（本館学芸員）
 日 時：9月11日（土）・25日（土）・10月9日（土） 午後2～3時

平成22年度 特別展「晴れの国の名宝－岡山の国宝・重要文化財－」

開催要項（案）

1 趣 旨

私たちの郷土岡山は日本の歴史において重要な位置を占め、各時代にわたり様々な特色ある文化を生み出してきた。このたび、「第25回国民文化祭・おokayama2010」が開催されるのを記念して、岡山ゆかりの国宝・重要文化財を中心とする優れた文化財を一堂に公開する。この特別展を通じて、本県の文化振興を図るとともに、全国の人々に岡山の歴史と文化を紹介する。

2 主 催 岡山県教育委員会・岡山県立博物館

3 会 期 平成22年10月22日（金）～11月28日（日）

※休館日：10/25(月)、11/8(月)、11/15(月)、11月22日(月)

4 開館時間 午前9時30分～午後5時

5 会 場 岡山県立博物館 第1～4展示室

6 入館料 大人650円、高校生200円、小中学生180円、65歳以上320円 (5歳未満は無料)

7 展示構成と主な展示資料 (●国宝 ◎重要文化財 ○岡山県指定重要有形民俗文化財)

(1) 考古 ※展示資料約100件

◎とくしゆきだい特殊器台(岡山県立博物館蔵)、◎とつせんりゆうすいもんどうたく突線流水文銅鐸(岡山県教育委員会蔵)

(2) 美術

●がきそうし餓鬼草紙曹源寺本(京都国立博物館蔵)、◎かちょうずびょうぶはせがわのぶはる(とうはく)ひつ花鳥図屏風長谷川信春(等伯)筆(日蓮宗不受不廻派蔵)

(3) 文書

○あしかがたかうじみきょうしよ足利尊氏御教書(岡山県立博物館蔵)、◎かなやま じもんじよ金山寺文書(岡山市金山寺蔵)

(4) 民俗

○かしかくまのびくにかしき網漁法コレクション(岡山県立博物館蔵)、○かしかくまのびくに笠加熊野比丘尼関係資料(個人蔵)

(5) 刀剣・甲冑

●たち太刀ともなり銘友成(東京国立博物館蔵)、●あかがわおとしよろい かごと おおそでつき赤韋威鎧兜・大袖付(岡山県立博物館蔵)

(6) 備前焼

◎しじ備前四耳大壺(赤磐市千光寺蔵)、◎はないけ備前大筒花生(個人蔵)

8 関連事業

(1) 記念講演会

日 時：平成22年10月24日（日）13:00～15:00

講 師：吉備国際大学教授 白井洋輔氏

(2) 特別講座

日 時：平成22年11月14日（日）13:30～15:00

講 師：国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）「備前焼」 伊勢崎淳氏

(3) 特別解説

日 時：平成22年11月23日（火・祝）14:00～15:00

講 師：岡山県指定重要無形文化財保持者「日本刀」 安藤広清氏

(4) 伝統工芸の実演会 備前焼 「土のひねりの技」

日 時：平成22年11月21日（日）13:00～15:00

講 師：未定

(5) 展示解説（本館学芸員）

日時：10月23日(土)・31日(日)・11月13日(土)・27日(土) 午後2～3時

<継続事業>

平成22年度 交流展 岡山・島根文化交流事業 「古代出雲展Ⅱ－神々の世界－」 開催要項（案）

1 趣 旨

中国地方の南北に位置する岡山県と島根県は、古代吉備文化・古代出雲文化という特徴ある地域文化を形成するとともに、様々な交流も育まれてきた。我が国古代史において、独自の文化を創出した出雲地方の代表的な文化財を紹介・展示することによって、両県の歴史・文化資源を活用した文化交流を3年計画で促進する。

2年目にあたる平成22年度は、「神々の世界」と題し、神話の国出雲に伝えられてきた信仰の歴史や出雲信仰が広まっていく過程について、出雲大社・出雲信仰に関連した絵画・文書・工芸資料を中心として紹介し、古代出雲の歴史と文化に触れる機会を提供する。

- 2 主 催 岡山県教育委員会・岡山県立博物館・島根県立古代出雲歴史博物館
- 3 会 期 平成23年1月14日（金）～2月13日（日） ※休館日 毎週月曜日
- 4 開館時間 午前9時30分～午後5時
- 5 会 場 岡山県立博物館 第2展示室
- 6 入 館 料 250円、65歳以上は120円（高校生以下無料）
- 7 展示構成と主な展示資料（●国宝 ◎重要文化財 ○島根県指定文化財）

第1部 出雲大社と神々の国の信仰

第2部 出雲信仰の広がり

（主な展示資料）

出雲国風土記（写本）	江戸時代	古代出雲歴史博物館蔵
金輪御造宮差図（出雲大社本殿関連図）	江戸時代	個人蔵
○杵築大社近郷絵図	江戸時代	個人蔵
◎杵築造宮遷宮旧記注進	平安～鎌倉時代	個人蔵
◎宝治二年遷宮儀式注進状	鎌倉時代	出雲市出雲大社蔵
●秋野鹿蒔絵手箱	鎌倉時代	出雲市出雲大社蔵
◎銅像観音菩薩立像	白鳳時代	出雲市鱒淵寺蔵
○線刻千手観音菩薩鏡像	平安時代	松江市佐太神社蔵
玉持大黒図	江戸時代	古代出雲歴史博物館蔵

8 関連事業

（1）記念講演会

日 時：平成23年1月29日（土）13:30～15:00

講 師：島根県立古代出雲歴史博物館名誉館長・京都大学名誉教授 上田正昭氏

（2）ワークショップ

日 時：平成23年2月5日（土）・6日（日） 13:00～15:30

詳 細：未定

（3）ボランティアガイド

日 時：平成23年1月23日（日）・30日（日）・2月13日（日）11:00～15:00

（4）展示解説（本館学芸員）

日 時：1月22日（土）・2月12日（土） 14:00～15:00

平成22年度 交流展「瀬戸内源平合戦 — 兵たちの世界 —」
開催要項

1 趣 旨

平成22年は、岡山県で「第25回国民文化祭・おokayama2010」、香川県で「瀬戸内国際芸術祭2010」という大規模な文化の祭典が催される。

本館ではこれを記念して、平成18年度から3年間にわたり交流を行った香川県立ミュージアムと連携して、源平合戦をテーマとする展覧会を開催する。

本展では、藤戸合戦や屋島合戦など、現在の岡山・香川県域でおこなった源平合戦を描いた絵画や関係資料から当時の武士の姿や源平合戦がどのように語り継がれたかを紹介する。

2 主 催 岡山・香川合同企画文化交流展実行委員会・岡山県教育委員会
岡山県立博物館・香川県・香川県立ミュージアム

3 助 成 (財) 福武学術文化振興財団・(財) 岡山県教育職員互助組合

4 会 期 平成22年8月5日(木)～9月5日(日) ※休館日 毎週月曜日

5 開館時間 午前9時～午後6時

6 会 場 岡山県立博物館 第2展示室

7 入 館 料 大人200円(65歳以上・中学生以下は無料)

大人250円、65歳以上は120円(高校生以下無料) 9月1日より改定

8 展示構成と主な展示資料(◎重要文化財 ○岡山県指定重要文化財)

第1章 源平合戦と瀬戸内 第2章 水島・藤戸合戦と岡山

第3章 屋島合戦と香川 第4章 兵たちの装い

(主な展示資料)

源平合戦図屏風	6曲1双	江戸時代	香川県立ミュージアム蔵
屋島合戦画帖	1帖	明治時代	高松松平家歴史資料蔵 (香川県立ミュージアム保管)
八嶋大合戦	3枚続	江戸時代	高松市歴史資料館蔵
平家物語絵巻	2巻	江戸時代	林原美術館蔵
赤韋威鎧(復元模造)	1領	現代	高梁市歴史美術館蔵
◎色々威甲冑	1領	南北朝時代	瀬戸内市 豊原北島神社蔵
○太刀 銘 正恒	1口	平安時代	岡山県立博物館蔵

9 関連事業

(1) 記念講演会

日 時：平成22年8月8日(日) 13:30～15:00

講 師：神戸大学名誉教授 高橋昌明氏

(2) ミュージアムコンサート「琵琶の語りで聴く平家物語」

日 時：平成22年8月22日(日) 15:00～16:00

奏 者：薩摩琵琶鶴田流奏者 大杉秀宗氏

(3) 那須与一に挑戦★弓矢で扇の的を射よう!

日 時：平成22年8月15日(日)・29日(日) 10:00～15:00

(4) はくぶつかんクイズラリー 期間中実施

(5) 展示解説(本館学芸員)

日時：8月7日(土)・21日(土) 14:00～15:00

<新規事業>

岡山県立博物館博福連携事業「いきいき講座」 開催要項

1 趣 旨

高齢化社会の進む中、最近では映画や雑誌等で昭和をなつかしむ風潮がおこり、全国の博物館でも、昭和時代や民具をテーマとした展覧会が開催され、昭和時代の資料収集・保存も進んでいる。その時代を知る世代の来館者が増え、高齢者が懐かしみ、生き甲斐を感じる博物館像が構築されている。また、福祉・医療現場には、こうした懐かしさを満喫し、互いの思い出を語り合うことで機能の回復、高齢者ケアを果たす、「回想法」が導入されており、その中での博物館の利用やその資料の活用が進められている。

当館でも、平成20年度から施設のUD化が進んだことから、博物館と福祉の連携を図り、高齢者が笑顔にあふれ、生き生きと会話のはずむ博物館の利用を促進する。

2 開催日 館内 平成22年8月6日(金)・8月11日(水)

出前 平成22年7月12日(月)・9月下旬

3 事業の概要

(1) 実施方法

館内(1施設1回)

- ◆その時代を経験してきた人々が、その時代の民具を見たり触れたりすることで、懐かしさや生き甲斐を感じるようになる。
- ◆懐かしさを満喫し互いの思い出を語り合うことで、機能の回復や高齢者ケアを果たす。これは「回想法」といわれ、福祉・医療現場では多く導入されている。展示している民具や体験資料を取り揃えている博物館の利用が全国的に進められてきている。

出前(1施設1回)

- ◆来館が困難な人にも体験してもらえよう、体験資料を使用して来館時と同じように、語り合い、見て触れてもらう。

(2) 成果のまとめ

- ◆成果をまとめて、県下老人施設等へ配布する。

4 対 象 老人施設等

5 定 員 館内各回15名

平成22年度教育普及事業「吉備の国ジュニア歴史スクール」 開催要項

1 趣 旨

岡山県の歴史と文化に関わる児童向けテーマを設定し、第1日はそのテーマに関わる文化財をバスツアーにより一日で集中的に見学する。第2日は、県立博物館で、文化財見学の成果を生かしながら、学芸員からスライドや実物資料を用いての授業を受け、郷土の歴史に対する理解を深め、さらに博物館でのマナー学習、展示資料はもとよりバックヤードも見学して文化財や博物館へ親しむ。第3日は各学校で郷土の歴史学習の成果をまとめる。

3日間の有意義な歴史スクールとして博物館と学校の連携を図る。

2 主 催

岡山県立博物館教育普及事業実行委員会
岡山県教育委員会・岡山県立博物館・(財)岡山県教職員互助組合

3 開 催 日

備前焼コース

日程：平成22年5月12日（水）・6月2日（水）7月7日（水）

参加小学校：浅口市立金光吉備小学校

い草コース

日程：平成22年6月11日（金）・7月6日（火）・7月9日（金）

参加小学校：久米南町立弓削・誕生寺・神目小学校

桃太郎コース

日程：平成22年7月2日（金）・10月5日（火）・未定

参加小学校：矢掛町立中川・美川・山田・三谷小学校

4 対 象

小学校6年生

5 定 員

各コース45名前後

6 参 加 料

無料

7 内 容

(1) 備前焼コース

第1日：史跡見学

寒風古窯址群（瀬戸内市）・岡山県備前陶芸美術館・天津神社（備前市）

第2日：岡山県立博物館館内授業・展示見学・バックヤード見学

第3日：各小学校で成果のまとめ

(2) い草コース

第1日：史跡見学

い草田（倉敷市）・畳表製作現場（倉敷市）・倉敷市立磯崎眠亀記念館

第2日：岡山県立博物館館内授業・展示見学・バックヤード見学

第3日：各小学校で成果のまとめ

(3) 桃太郎コース

第1日：史跡見学

鬼ノ城・楯築遺跡・吉備津神社

第2日：岡山県立博物館館内授業・展示見学・バックヤード見学

第3日：各小学校で成果のまとめ

平成22年度教育普及事業「博物館講座」

開催要項

1 趣 旨

平成22年開催の国民文化祭の開催に向け、より多くの県民に、岡山の歴史と文化に対する理解を深めるための学習の場を提供することが求められている。

また、団塊の世代の大量退職に伴う生涯学習への需要の高まりを受けて、学習の場を確保することも必要となっている。

このため、県民の岡山の歴史と文化の理解を更に深めるとともに、県立博物館の利用促進につながる講座を実施する。

2 事業の概要

◆スタンダードコース（学芸員コース）

(1) 講座数 4日間8講座（1日2講座、1講座2時間）午前10時～12時、午後1時～3時

(2) 開講日 <火曜日班>平成22年6月8日・15日・22日・29日

<木曜日班>平成21年6月10日・17日・24日・7月1日

(3) 講師・内容

開講日	テ ー マ	講 師
第1日	茶陶の美 備前焼・虫明焼	学芸員 鈴木 力郎
	文化財にしたしむ ～仏教絵画入門	学芸員 河合 忍
第2日	記録資料としての公文書 ～なぜ公文書管理は必要か	岡山県立記録史料館学芸員 下垣 豪
	瀬戸内源平合戦一兵たちの世界一	学芸員 佐藤 寛介
第3日	近代岡山の先人たち	学芸員 信江 啓子
	吉備の銅鐸	副参事 正木 茂樹
第4日	「楯築」・「造山」・「鬼ノ城」 一暦年代を探る一	副館長 平井 泰男
	郷土資料を伝えた先人たち	主 幹 竹原 伸之

(4) 定 員 各曜日70名（継続受講）、計140名

(5) 受講料 1,000円

(6) 会 場 岡山県立博物館講堂

(7) 連 携 生涯学習大学の連携講座（受講シール8枚発行）

【実施状況】 受講者数 122名

◆スペシャルコース（外部講師コース）

（１）講座数 ４日間４講座（１講座２時間）

（２）開講日・講師

開講日	テ ー マ	講 師
7 / 4	「栄西と「源平合戦」」	久野修義氏 （岡山大学大学院社会文化科学研究科教授）
8 / 1	「造山古墳群の解明をめざして」	新納 泉氏 （岡山大学大学院社会文化科学研究科教授）
9 / 5	「書の見方 ー寂庵・良寛を中心にー」	島谷弘幸氏 （東京国立博物館学芸研究部長）
10 / 3	「ガラスを吹く」	小谷眞三氏 （倉敷ガラス製作者・ 元倉敷芸術科学大学芸術学部教授）

（３）定 員 120名（継続受講）

（４）受講料 2,000円

（５）会 場 岡山県立博物館講堂

（６）連 携 生涯学習大学の連携講座（受講シール４枚発行）

【実施状況】	受講者数 121名
--------	-----------

平成22年度体験事業『歴史体験 よろいと小袖を着てみよう！』

開催要項

1 趣 旨

5月5日の「こどもの日」に、小中学生によろい（甲冑）や小袖を実際に着用してもらい体験により、本物のもつ質感や迫力を通じて歴史を学んでもらうとともに、家族とのふれあいの場を提供する。また、「国際博物館の日」記念事業として、博物館の社会的役割を県民にアピールする。

- 2 開催日時 平成22年5月5日（水・祝）午前9時30分～午後3時30分
＜午前組＞午前9時30分～午後12時
＜午後組＞午後1時～午後3時30分 （1組 約30分）

3 場 所 岡山県立博物館 講堂

4 対 象 者 小学4年生～中学生 ※原則として保護者同伴とする。

- 5 募集定員 <よろい>午前組・午後組それぞれ5組 計10組
<小袖>午前組・午後組それぞれ5組 計10組
※それぞれ募集定員を超えた場合は抽選を行う。

6 申込方法 「はがき」・「FAX」・「インターネット」のいずれかで、「よろい体験」または「小袖体験」を選択して応募。はがき・FAXの場合は、一枚につき一人まで。

1) はがき・FAX

→次の内容を明記して岡山県立博物館に郵送またはFAXする。

- ①<よろい体験>を希望→「よろい体験 参加希望」と明記
①<小袖体験>を希望→「小袖体験 参加希望」と明記
②参加する児童生徒の氏名・学年・住所・電話番号・希望する時間（午前組/午後組）・同伴保護者名を記入。

2) インターネット

岡山県立博物館ホームページから電子申請で申し込む。

- 7 申込締切 平成22年4月16日（金）必着
8 参加費 無料（参加者・保護者は入館料も無料扱いとする）
9 その他 参加者とその保護者は展示室の見学を無料とする。参加者にはよろいと小袖の学習シートとクイズを用意し、回答者にミュージアムグッズをプレゼントする。

※<よろい体験>江戸時代の本物のよろいを修復したものを使用。

<小袖体験>江戸時代の女性の衣装を忠実に再現したものを使用。

※「国際博物館の日」

国際博物館会議（イコム）が、博物館の社会的役割を広くアピールする日として提唱したもので、毎年5月18日ごろを中心に世界中の博物館でさまざまな事業が行われる。

【実施状況】

<よろい体験>	参加申込数	11名	参加者数	11名
<小袖体験>	参加申込数	4名	参加者数	19名

岡山県立博物館UD化推進事業

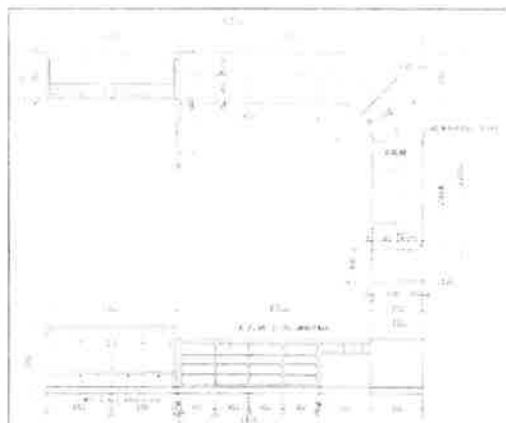
1 趣 旨

平成22年の国民文化祭の開催にあわせ、本県のユニバーサルデザイン推進指針に基づき、来館者の意見を反映し、UDに配慮した施設整備を行い、みんなにやさしい博物館を目指す。

2 事業の概要

ユニバーサルデザイン化工事（受付カウンター、階段手すり設置等）

3 改修イメージ



受付カウンター



階段手すり（1階から2階へ）



階段手すり（2階ホール）

太線：手すり

4 UD化整備箇所

整備年度	整備箇所	整備内容
20年度	エレベーター	展示室内にエレベーターを設置した。
	玄関自動ドア	玄関ドアを自動ドアに改修した。
	点字誘導ブロック	玄関前から館内受付まで及び階段に点字誘導ブロックを設置した。
	休憩室	1階ホールに背もたれ付き椅子を整備した。
21年度	来館者用トイレ	オストメイト対応多目的トイレを1階に新設した。 おむつ交換台、乳幼児いすを設置した。 便器、床面、水栓器具等を改修した。
	1階ホール照明	ホールの暗いイメージを解消するため、照明器具を改修した。
	ピクトグラム (絵文字) 設置	玄関ガラスに館内のUD設備を表示した。 エレベーターのピクトグラムの表示を大きくした。
22年度	階段手すり	階段に、握りやすい2段手すりを設置する。 手すりに点字プレートを設置する。
	受付カウンター	車いす使用者にも配慮した受付カウンターを設置する。
	休憩室	2階ホールに背もたれ付き椅子を整備する。
	館内総合案内板	ピクトグラム(絵文字)を使用した総合案内板を設置する。

緊急雇用対策事業（経済対策事業）

1 趣 旨

国から県へ交付された緊急雇用創出事業臨時特例交付金を財源として造成した岡山県緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用して、県が、雇用及び失業の情勢の悪化に伴い離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する等の事業を実施する。

2 実施事業

事業名	実施期間	契約金額	事業内容
収藏品管理データベース構築事業	4月1日 ～9月30日	1,089,774円	21年度構築した収藏品管理データベースの不具合の調整、画像データの追加登録及び館蔵図書資料データの追加入力を行う。
資料整理事業	4月1日 ～7月31日	1,130,752円	21年度に引き続き、「考古」「民俗」「文書」の3分野の資料について、資料リストの作成、写真(デジタル)撮影及び資料整理作業を行う。
資料等修復事業	4月1日 ～8月31日	4,326,000円	21年度に引き続き、今後の展示や館内授業に活用できるものについて修復を行う。 また、展示資料を載せる展示台のクロスが老朽化や汚損しているため貼替作業を行う。
合 計	3件	6,546,526円	

3 21年度実施事業

事業名	契約期間	契約金額	事業内容
刊行物等デジタル化事業	6月1日 ～10月31日	2,598,750円	博物館の刊行物や所蔵するカラーポジフィルムをデジタル化した。(図録他5,297点)
収蔵庫等整理事業	8月21日 ～12月20日	2,162,002円	収蔵庫の整理作業、また他館から送られてくる図書及び蔵書の分類や陳列作業を行った。
国際化対応事業	10月1日 ～3月19日	24,150,000円	博物館の展示物の「名称・キャプション」「解説シート」「展示ガイド」「要覧」を英語・中国語・韓国語に翻訳すると共にデータベース化した。
収藏品管理データベース構築事業	10月1日 ～3月31日	1,084,951円	収藏品管理データベースを構築した。
参加体験型資料作成事業	12月11日 ～3月31日	5,565,000円	博物館内に子どもたちが遊んで学べる歴史体験コーナーを設置するために必要な参加型資料を作成した。(特殊器台パズル他15点)
ホームページ作成事業	2月1日 ～3月31日	672,000円	博物館のホームページの全面的な更新を行った。
資料整理事業	2月1日 ～3月31日	550,377円	寄託資料や寄付を受けた資料のうち、「民俗」「文書」の2分野の資料について、分類整理作業を行った。
資料等修復事業	2月1日 ～3月31日	557,550円	博物館には寄贈を受けた資料で、今後の展示や館内授業に活用できるもののうち、葉簞箆について修復を行った。
吹付アスベスト対策工事	10月8日 ～11月26日	4,534,950円	地階機械室の天井にある吹付アスベストの除去作業を行った。
合 計	9件	41,875,580円	

平成22年度「館内授業・出前授業・探検ツアー」内容一覧

○歴史・民俗分野

No.	テ　　マ	館内授業	出前授業	主な内容	対象			担当学芸員
					小	中	高	
1	歩いて学ぶ地域の歴史		○	学校周辺の見慣れた風景から、地域の歴史を探ろう。	○	○		鈴木・竹原 信江・佐藤
2	体験！むかしの暮らし	○	○	農具や民具を使って、むかしの暮らしを考えます。(例：灯りの話、こたつの話)	○	○		信江・鈴木
3	古文書で読み解く江戸時代	○	○	古文書を読み解きながら、江戸時代の社会や暮らしを考えます。		○	○	竹原
4	岡山の戦国時代	○		戦国時代の岡山について、武将の書状等の歴史資料をもとに分かりやすく解説します。		○	○	竹原
5	岡山城と後樂園	○		絵図や古文書から、岡山城と後樂園の歴史や文化に迫ります。	○	○	○	竹原
6	児島湾の話	○		児島湾で行われていた漁業や、児島湾干拓の歴史をひもときます。	○	○		信江
7	近世の岡山の教育と文化	○		近世岡山の教育や文化について歴史資料から考えます。	○	○	○	鈴木

○美術分野

No.	テ　　マ	館内授業	出前授業	主な内容	対象			担当学芸員
					小	中	高	
8	備前焼を知ろう。	○	○	岡山を代表する焼き物の歴史や魅力を伝えます。	○	○		鈴木
9	地獄と極楽	○		地獄と極楽一昔の人々が想像した、あの世の姿を探ります。	○	○		河合
10	仏像入門ー仏のいろいろー	○		さまざまな仏の紹介を通じて、仏像の不思議な魅力を伝えます。	○	○		
11	美術品に親しもう！	○		日本美術の特徴や、その楽しみ方を分かりやすく解説します。	○	○	○	

○考古分野

No.	テ　　マ	館内授業	出前授業	主な内容	対象			担当学芸員
					小	中	高	
12	古代吉備の世界	○	○	かつて吉備と呼ばれた岡山県の遺跡や考古学について説明します。	○	○	○	佐藤・正木 平井
13	遺跡を歩いてみよう！		○	学校周辺の遺跡や古墳を調べてみよう。	○	○		
14	土器や石器をさわってみよう！	○	○	本物の土器や石器から、むかしの暮らしを考えます。	○	○		

★館内授業…出前授業では持参できる資料に限りがあるが、博物館に来ることでより豊富な資料に触れたり、展示を見たりなど充実した授業を行うことができる。

【実施状況】

7月30日現在

・館内授業

小学校：8校22クラス実施
中学校：3校5クラス実施
高校：1校1クラス実施
大学：4校実施

・出前授業

小学校：1校1クラス実施
中学校：1校5クラス実施

【今後の予定】

7月30日現在

・館内授業

小学校：2校9クラス実施予定
中学校：—
高校：1校1クラス実施予定
大学：2校

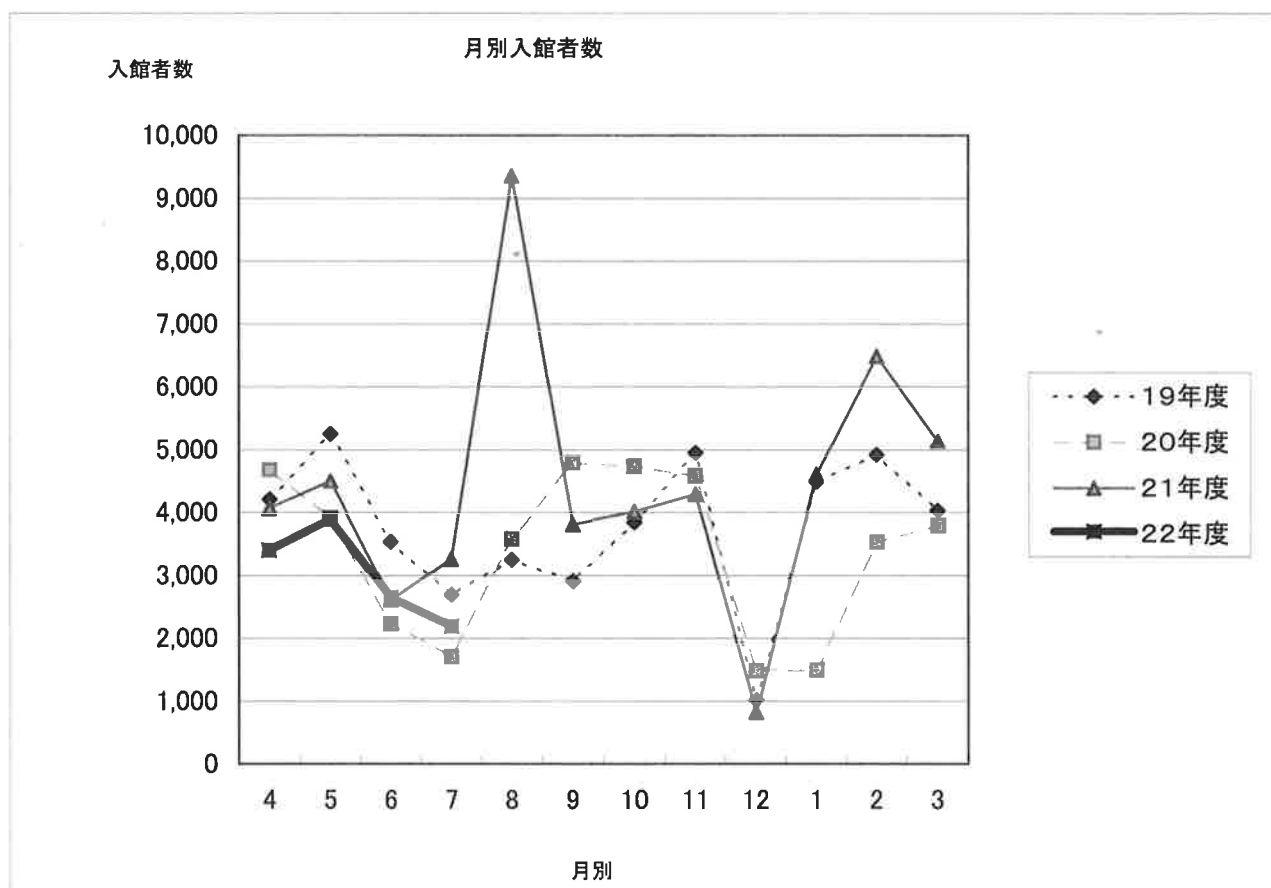
・出前授業

小学校：1校実施予定

月別入館者数

(単位:人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	7月末現在
19	4,210	5,252	3,548	2,698	3,263	2,913	3,844	4,950	1,027	4,487	4,919	4,033	45,144	15,708
20	4,679	3,915	2,232	1,716	3,589	4,787	4,735	4,579	1,489	1,499	3,525	3,785	40,530	12,542
21	4,074	4,499	2,618	3,272	9,348	3,824	4,017	4,291	829	4,607	6,481	5,142	53,002	14,463
22	3,413	3,904	2,651	2,196	/	/	/	/	/	/	/	/	/	12,164



中期目標の達成状況について（平成21年度）

○ 自己評価、自己点検

中期目標を達成するため、毎年度の達成状況を点検評価します。

(1) 目標の設定

目標は中期目標の目標値とします。

(2) 評価の時期

年度末に実施します。

(3) 評価者

館全体で評価します。

(4) 評価区分

評価は、次の1～5段階で行います。

評価区分	内	容
5	目標水準を大きく上回った。	140%以上
4	目標水準を上回った。	110%以上 140%未満
3	概ね目標水準である。	90%以上 110%未満
2	目標水準を下回った。	60%以上 90%未満
1	目標水準を大きく下回った。	60%未満

(5) 結果の公表

評価結果は、「岡山県立博物館協議会」において報告するとともに、ホームページで公表します。

評価シート

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成21年度 実 施 結 果	評 価
1 資料の 収集と保 存・活用	資料の購入	資料の購入件数	1点/年	9点/年	5
	寄付資料の受け入れ	新規寄付資料の受け 入れ件数	30件/年	12件/年	1
	寄託資料の受け入れ	新規寄託資料の受け 入れ件数	30件/年	6件/年	1
	資料の適切な保管	収蔵庫等の定期点検 回数	12回/年	12回/年 資料整理： 2月間（緊急雇用）	3
	展示室の資料保存環境 の点検	展示室等の定期点検 回数	50回/年	48回/年 水替え	3
	収蔵スペース確保の検 討	収蔵スペース確保の 検討 整理・整頓	随 時 4回/年	6回/年 4月間（緊急雇用）	3
	収蔵品の補修	収蔵資料の修復点数	5点/年	3点/年	2
	資料の活用	収蔵資料展示点数	1,000件/年	1,133件/年	4
		特別観覧利用件数	100件/年	104件/年	3
		規程の整備	平成21年度中 に整備	・特別観覧規程 ・貸出規程 を整備	3
平均評価					3
2 調査研 究	調査研究活動の強化	各学芸員の調査テー マの設定	6件/年 (各学芸員1テーマ)	6件/年 (各学芸員1テーマ)	3
	調査研究成果の公表	研究報告の発刊	1回/年	1回/年	3
		年報の発刊	1回/年	1回/年	3
		博物館だよりの発刊	2回/年	2回/年	3
		平常展、企画展、特別 展の開催	12回/年	12回/年	3

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成21年度 実施結果	評 価
		博物館講座の開催	6回/年	6回/年	3
	外部研究機関等との連携	共同研究テーマ数	2件/年	0件/年	1
平均評価					3
3 施設の 整備・管理	UD化推進事業	エレベータ設置		実施済	3
		玄関自動扉設置		実施済	
		来館者用トイレ改修	H21年度末	実施済	3
		点字ブロック敷設		実施済	
		階段手すり改修	H22年度末	H22 予算計上	—
		受付カウンター改修	H22年度末	H22 予算計上	
		休憩室整備	H22年度末	実施予定	—
		案内表示板(ピクトグラム等)設置	H22年度末	実施予定	
				受付照明改修	
		安全な施設の維持管理	施設改善5カ年計画の策定	緊急性の高い事案から着手	7バス撤去 排水管清掃 冷凍機改修 防災器具改修 受電設備改修
	危機管理体制	来館者事故数	0件/年	0件/年	3
		防災訓練の実施	年2回開催	1月26日実施	1
		安全衛生会議の開催	年3回開催	6月30日, 10月9日, 12月17日 実施	3
		危機管理マニュアルの作成	平成22年度までに作成	検討中	—
	利用環境の向上	入館者の満足度	90%以上	76%	2
平均評価					3
4 展示	特別展	入館者数 実施回数 中期計画策定	15千人/年 2回/年 5カ年計画策定	12,418人/年 2回/年 5カ年計画策定	2

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成21年度 実 施 結 果	評 価
	企 画 展	入館者数 実施回数 中期計画策定	13千人/年 2回/年 5カ年計画策定	20,785人/年 2回/年 5カ年計画策定	5
	交 流 展	入館者数 実施回数 中期計画策定	7千人/年 1回/年 5カ年計画策定	6,124人/年 1回/年 5カ年計画策定	2
	平 常 展	入館者数 特別陳列	15千人/年 1回/各季節展	13,675人/年 1.2回/各季節展	3
	各展共通項目	関連事業の充 実 展示方法の改 善	記念講演会 実演等 展示解説	1回以上/1展覧会 3.5回以上/1展覧会 3回以上/1展覧会	1.0回/1展覧会 4.6回/1展覧会 3.2回/1展覧会
キャプション 解説シート 外国語表記 (英語・中国語・韓国 語) (名称等・キャプション、解 説シート、展示カド、要覧)			改 善 30枚 英語・中国語・ 韓国語表記 名称等 1,900件 キャプション 200件 解説シート 24枚 展示カド 2冊 要覧 1冊	書体表記の統一 年号表記の統一 24枚 (過去実績22枚+2枚) 英語・中国語・ 韓国語表記 名称 1,934件 キャプション 204件 解説シート 24枚 展示カド 2冊 要覧 1冊	3 2 3
平均評価					3
5 教育普 及・学校教 育との連 携	吉備の国ジュニア歴史 スクール	実施コース数 参加児童数	3コース3日/年 120人/年	実施計画策定 147人/年	4
	博物館講座 ①スタンダードコース	開設講座数 参加受講者数	8講座(2班)/年 140人/年	8講座(2班)/年 126人/年	3
	博物館講座 ②スペシャルコース	開設講座数 参加受講者数	4講座/年 120人/年	4講座/年 113人/年	3

目 標 項 目	評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成21年度 実施結果	評 価	
体験学習 ①わくわく歴史体験ゾーン	参加体験型資料の充実	10点	20点 (過去実績5点+15点)	5	
体験学習 ②よろいと小袖を着てみよう	参加児童数 ① よろい ② 小袖	10人/年 10人/年	10人/年 13人/年	3 4	
館内授業	実施学校数 受講児童生徒数	50校/年 2,500人/年	41校/年 1,748人/年	2 2	
出前授業	実施学校数 受講児童生徒数	20校/年 1,000人/年	14校/年 1,316人/年	2 4	
歴史探検ツアー	実施コース 参加児童生徒数	1コース/年 40人/年	1コース/年 23人/年	3 1	
展示解説	聴講者数	30人/1解説日	37.8人/1解説日	4	
博物館実習	受け入れ学生数 実施要項の策定	20人/年 平成21年度までに策定	17人/年 実施要項策定	2	
中学生職場体験	受け入れ学校数	5校/年	4校/年	2	
教職員研修	連携事業の実施回数	3回/年	4回/年	4	
平均評価				3	
6 県民参加の協働運営	広報活動	記者クラブへの資料提供件数	30件/年	33件/年	4
		マスコミ取材件数	70件/年	67件/年	3
		広報手段の新規開拓	1件/年	1件/年 インターネット情報対外登録	3
	アンケートの実施	アンケートの回収率	15%/年	14%/年	3
	ホームページの充実	HPアクセス数	600,000件/年	559,973件/年	3
		内容の更新頻度	月1回以上	月1回以上 HPのリニューアル	3

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成21年度 実 施 結 果	評 価	
	岡山県立博物館友の会	友の会会員数	400人/年	326人/年	2	
		会員の継続率	前年会員の90.0%	前年会員の78.1%	2	
		友の会事業実施回数	20回以上	19回	3	
		特別展等観覧者率	4.0%	2.4%	2	
	ボランティア受け入れ	展示解説ボランティア	6回/年 20人以上/年	12回/年 21人/年	5 3	
		支援ボランティア	5回/年 20人以上/年	14回/年 21人/年	5 3	
	地域社会と協働の展覧会の開催	共催団体数	1展覧会/3団体 以上	1展覧会/13団体	1	
		連携博物館数	1博物館/年	1博物館/年	3	
	博物館協議会	協議会開催回数	2回/年	2回/年	3	
		評価システムの検討	平成21年度中に実施	平成22年度第1回協議会で実施	—	
	老人福祉施設等との連携	連携施設数	2施設/年	平成22年度から実施	—	
	平均評価					3
	7 組織・人員	学芸員の資質向上	研修会への参加人数	10人/年	8人/年	2
平均評価					2	
総合評価					3	

岡山県立博物館協議会委員

任期2年（平成21年2月5日～平成23年2月4日）

平成22年7月現在

番号	氏名	区分	現職	就任年月	備考
1	久山孝美	学校教育関係者	岡山市立御野小学校長	H18.6	
2	三浦文美	"	岡山市立灘崎中学校長	H22.7	
3	谷川真利子	"	岡山県倉敷市立精思高等学校長	H22.7	
4	藤江京子	社会教育関係者	岡山県婦人協議会評議員	H21.2	
5	岡田浩明	"	岡山県生涯学習センター所長	H18.6	
6	武本あけみ	"	岡山県文化財保護指導委員	H15.2	
7	宇野均恵	家庭教育関係者	NPO法人子ども劇場笠岡センター理事長	H21.2	
8	長江真理子	"	NPO法人みる・あそぶ・そだつ津山子ども広場 代表理事	H21.2	
9	古市大藏	学識経験者	(株)トミヤコーポレーション代表取締役会長	H11.2	
10	太郎良裕子	"	ノートルダム清心女子大学教授	H11.2	
11	久野修義	"	岡山大学大学院社会文化科学研究科教授	H11.2	
12	伊勢崎 惇 (号) 淳	"	日本工芸会理事	H15.2	
13	高谷万知子	"	山陽放送(株)編成業務局企画推進部長	H17.2	
14	江見 肇	"	(株)山陽新聞社編集局文化部長	H19.10	
15	谷口圭三	"	岡山県議会議員	H19.6	

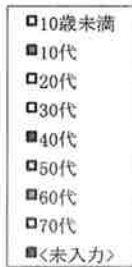
平成21年度 アンケート集計結果

◆アンケート回収率

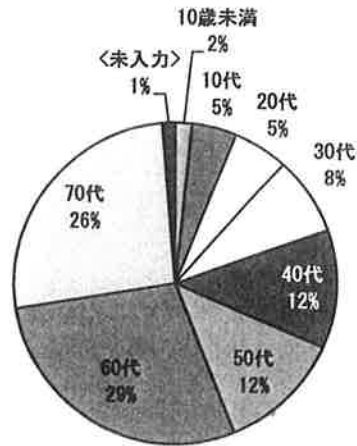
展覧会名	会期	入館者数	アンケート数	回収率
春季展	4/1~4/19	2,415	327	13.5%
特別展「岡山後楽園展」	4/24~5/24	5,791	877	15.1%
夏季展	5/29~7/20	4,616	462	10.0%
企画展「昭和の暮らし」	7/24~9/6	12,758	2,071	16.2%
秋季展	9/10~10/4	2,666	326	12.2%
特別展「土と火のオブジェ」	10/9~11/15	6,627	790	11.9%
秋季展	11/20~12/13	1,899	238	12.5%
交流展「古代出雲展」	1/5~2/7	6,124	1,039	17.0%
企画展「岡山の戦国時代」	2/11~3/14	8,027	1,247	15.5%
春季展	3/18~3/31	2,079	249	12.0%
合計		53,002	7,626	14.4%

◆年齢構成

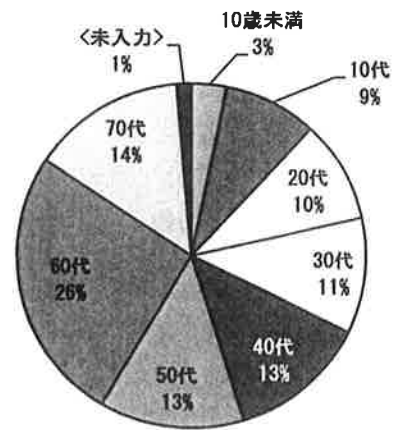
性別	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	<未入力>	性別合計
男性	80	218	263	376	565	591	1,362	1,247	64	4,766
女性	91	248	275	312	368	378	741	408	39	2,860
合計	171	466	538	688	933	969	2,103	1,655	103	7,626



男性



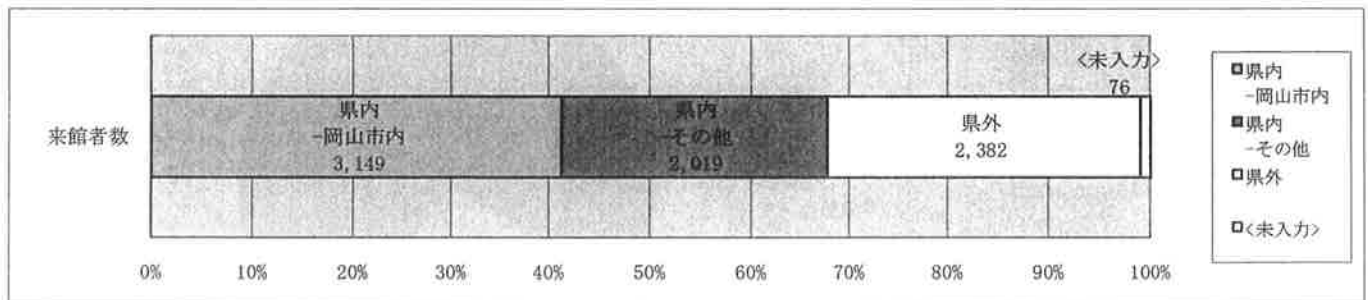
女性



◆住所地一覧

住所地	県内 -岡山市内	県内 -その他	県外	<未入力>
来館者数	3,149	2,019	2,382	76

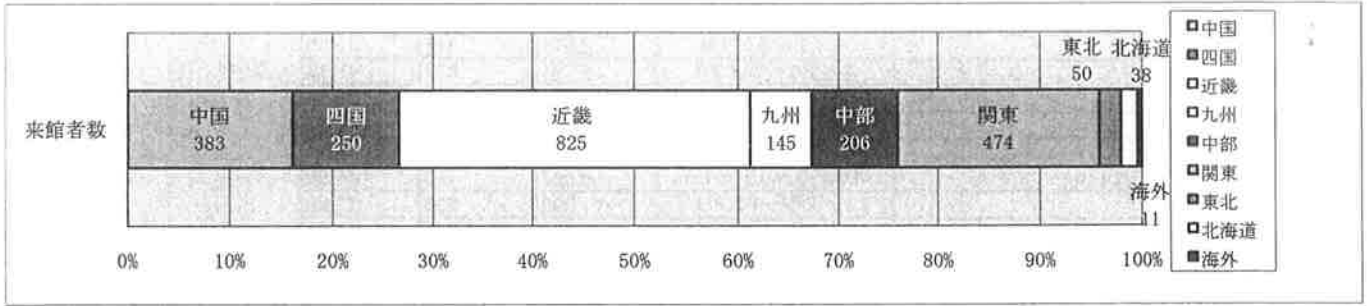
7,626



◆県外地方別一覧

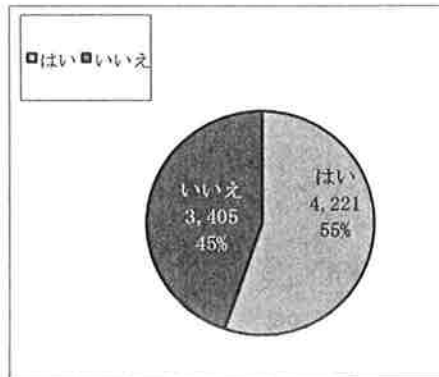
地方	中国	四国	近畿	九州	中部	関東	東北	北海道	海外
来館者数	383	250	825	145	206	474	50	38	11

2382



◆後楽園入園別来館者一覧

	回答数
はい	4,221
いいえ	3,405
	7,626



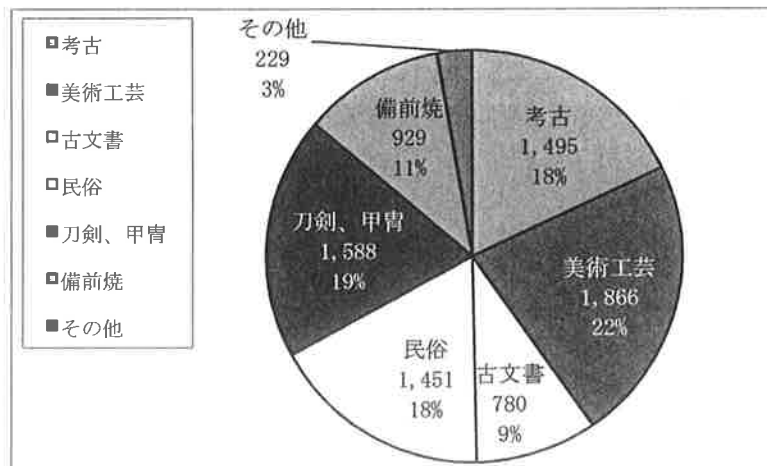
◆最近3年間の当館への来館日数

来館日数	回答数
10日以上	582
2~9日	2,403
初めて	4,535
<未入力>	106
	7,626



◆今後どのような展覧会を希望するか。

希望分野	回答数
考古	1,495
美術工芸	1,866
古文書	780
民俗	1,451
刀剣、甲冑	1,588
備前焼	929
その他	229



(希望する内容)

希望分野	
考古	<ul style="list-style-type: none">・大王の時代のもの・吉備と北部九州～ヤマトの交流・鬼ノ城や朝鮮からの渡来関係・古代吉備や中世吉備文化・造山古墳の発掘研究成果・海外のもの
美術工芸	<ul style="list-style-type: none">・鎌倉時代から江戸時代にかけての美術工芸品・他県、他館の宝物・仏像、仏教美術、県内の仏像・現代美術、工芸の対比・茶道関係
古文書	<ul style="list-style-type: none">・近代のもの・桃太郎物語・岡山藩の歴史的な記録、絵図・古文書の読み方の講座・宇喜多時代のもの・古写経展
民俗	<ul style="list-style-type: none">・食文化のわかるもの・城主と民のかかわり・民族衣装・生活道具(昔との比較)・車、工業製品・民間信仰、宗教・農村や学校の歴史・妖怪・幕末の医学・太平洋戦争前後の岡山・岡山に伝わる祭りや伝統文化を中心に・昔の遊び
刀剣、甲冑	<ul style="list-style-type: none">・赤韋威鎧を常設にしてほしい・国宝級の刀剣類・備前長船の刀剣・戦国武将の刀・火縄銃・洋風の刀剣・各地の現代刀工展
備前焼	<ul style="list-style-type: none">・古備前・茶道具・備前焼の歴史
その他	<ul style="list-style-type: none">・岡山県出身の文化人について・民話に関わるもの・県内の庭園・鉄道、バスなどの関係・岡山の隠れキリシタン・浮世絵・岡山の偉人について

◆その他、展覧会や施設などについて気づいたことは。

- ・館内が暑い。
- ・展示室の照明が暗い。館内全体が暗い。
- ・耐震対策はできているのか。
- ・音声ガイド、映像を利用した解説、ボランティアの解説、展示解説の充実を図ってほしい。
- ・休憩用の椅子の増設(展示室内の椅子を増やして欲しい。休憩用の椅子がほしい。等)
- ・駐車場が遠い。
- ・入館料に関して(入館料が安くてよい、高齢者からも取るべき、学割を作るべき、後楽園との共通券がわかりにくい など)
- ・PR不足。
- ・写真撮影がしたい。
- ・受付、職員の態度姿勢など(親切である。マナーの悪い人に注意しない 等)
- ・雰囲気、音について(静かだ、静かすぎる、音楽がほしい、足音がうるさい 等)
- ・キャプション、解説シート等について(文字の大きさ、フリガナ、子ども向けの必要性、キャプションの観点が表示によって異なり統一性がない、物の重さ、採集地等の場所情報などがあると良い、無料の解説シートがほしい、資料がほしい等)

- ・出品目録について(出品目録が見にくい、常設展示についても出品目録がほしい)
 - ・展示解説関係(展示解説をふやす方がよい。ボランティアの解説が良かった。音声ガイドがほしい 等)
 - ・順路がわかりづらい。
 - ・テーマを絞った方がよいのでは。
 - ・体験コーナーがよい。クイズラリー等の子ども向けイベントがよい。小学生の勉強になる。体験コーナーの数を増やす、期間を長くしてほしい。
 - ・展示に見る側の視点「なぜ」「背景となる考え方」が不足している。展示する側の一方的な思いになっている。
- 等、他に多数の意見あり。